

## 次期三重県救急医療情報システムの計画に関する情報提供依頼（RFI） 質問票

No.	資料・様式番号	資料名	該当ページ番号	質問内容	質問の趣旨	回答
1	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	10	「2.1.1 システムの改修・改善内容 システム構築と直接関係しない人的作業費用や設備整備費用等は含まないこととする。」とありますので、そのように提案させていただきますが、具体的な費用の内容がありましたら、例としてご教示いただくことは可能でしょうか？	通常、システム構築や運用保守以外の費用は含めませんので、何かのご事情、意図があれば、それに沿う形で検討を行います。	特段の意図はございませんので、「システム構築や運用保守以外の費用は含めない」、という考え方で結構です。
2	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	7, 8, 10	「No.3 救急搬送業務の支援」に記載されています「救急搬送支援システム（みえねっと）」についてですが、具体的には、中勢伊賀地域に導入されている「e-Match」と想定して良いのでしょうか？	伊勢志摩地域に導入されている「救急患者情報を伝送するシステム」は含めないとみてよろしいでしょうか？	「救急搬送支援システム（みえねっと）」は「e-Match」という認識で結構です。「救急患者情報を伝送するシステム」は含めないものとしてご提案下さい。
3	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	12	「2.3.2 県民向けメニューの新旧切替」を踏まえて切替方法をご提案しますが、URLは基本的に同じものが県民の皆様が混乱することがないと想定されますが、同じURLを使った切り替え方法のご提案としてよろしいでしょうか？	次期システムで、URLを変えるようなご検討があれば、それに合わせてご提案します。	同じURLを使うことを前提としてご提案下さい。
4	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	13	「2.3.4 マニュアルの作成」については、端末台数分のマニュアルを印刷・製本しますが、発送費用は提案に含めるべきでしょうか？	説明会開催時に配布する場合は不要と思いますが、別途、郵送する場合は、三重県様で発送していただくか、弊社にて発送させていただくかの対応を実施いたします。	発送費用は含めない、という前提で結構です。
5	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	13	「2.3.4 マニュアルの作成」については、端末を設置しない医療機関、消防機関、保健所、医師会のマニュアルも作成するものと認識しています。それらの端末を設置しない関係機関のマニュアルは、印刷せず、PDFでダウンロードしてもらう方法との認識でよろしいでしょうか？	関係機関も含めて、印刷、製本、発送費用が必要な場合は、ご提案に含めてまいります。	左記の認識で結構です。
6	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	13	「2.3.5 通信回線等の契約手続き」については、次期システムで使用しない端末側回線の撤去費用は含めないと認識してよろしいでしょうか？	基本的には、現行システムの提供事業者と三重県様のご契約の中で整理されていると認識していますが、念のため確認させてください。	本RFIにおいては、撤去費用は含めない、という前提でご提案下さい。
7	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	14, 23	P14「3.1 システム概要」において、「※3：救急医療情報センターはインターネットVPN等、その他機関は既設のインターネット網を利用」とありますが、P23では三重県様向けにインターネットVPN回線とする記述があります。三重県向けにはどちらがよろしいでしょうか？	端末側回線の本数を確定したいため、ご教示いただけますと助かります。	インターネットVPN等の通信環境は、救急医療情報センターとサーバ間のみとし、三重県庁からの利用は、既設のインターネット回線を利用する前提で結構です。なお、現時点で個人情報を取り扱うことを想定したセキュアな通信環境をご提案頂くことを想定していますが、個人情報を取り扱わない場合、適切なセキュリティを確保でき、かつ費用を低減することが可能な方式があれば、追加でご提案頂けますと幸いです。（参考費用提示）
8	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	19	「4.1.2 利用期間向け端末設備（構成及び要件）」について、タブレットの数量は予備機を含めず、150台を設置し、別途予備機を提案するとの認識でよろしいでしょうか？	予備機の台数が含まれていないのであれば、医療機関様の運用を考慮し予備機の台数もあわせてご提案させていただきます。（貴県として予備機の数にご要望があればご提示ください）	ご提案に際しての費用の算定は、150台でご提案頂ければ結構です。なお、予備機の台数は今後検討が必要なため、参考情報として、運用を考慮した最適な予備機の数をご提案頂けますと幸いです。
9	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	20	「4.1.3.1 構成 No.9 応需変更受付に関する機器」において、「電話による応需変更受付業務」は、電話による応需入力（ON/OFF入力）を意味すると見てよろしいでしょうか？	弊社の誤認識とならないよう、念のため確認させてください。	電話による応需入力を意味するという認識で結構です。（特定の電話番号に電話をしてON/OFFを切り替えることを想定）
10	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	20	「4.1.3.2 基本要件 No.2 発信用電話回線」において、音声ガイダンス用回線1回線は具体的にどのように使用される回線となりますでしょうか？	構内交換機の機種選定を行うため、収容すべき回線本数を把握したいと思っています。	音声ガイダンスは、対応可能なオペレータ数を超える着信があった際の、待機のガイダンスを流すなどの用途を想定しており、回線数は任意に設定できることを想定しています。本運用を行うにあたって、最適な回線及び機器のあり方についてご提案下さい。
11	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	20	「4.1.3 コールセンター設備（構成及び要件）」について、機器の設置量は予備機を含めず、15台を設置し、別途予備機を提案するとの認識でよろしいでしょうか？	予備機の台数が含まれていないのであれば、コールセンター様の運用を考慮し予備機の台数もあわせてご提案させていただきます。（貴県として予備機の数にご要望があればご提示ください）	ご提案に際しての費用の算定は、15台でご提案頂ければ結構です。なお、予備機の台数は今後検討が必要なため、参考情報として、運用を考慮した最適な予備機の数をご提案頂けますと幸いです。
12	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	21	「4.1.3.2 基本要件 No.3 構内交換機、電話機について」において、事務局に内線で転送を可能とするとありますが、事務局の電話回線を、更新する構内交換機に収容することで内線転送が可能となります。現在の事務局の電話回線本数を教示いただけますでしょうか？	構内交換機の機種選定を行うため、収容すべき回線本数を把握したいと思っています。	クレーム等の対応に際して転送を行うことを想定しているため、内線転送が可能な回線として通常のオペレータが応答する回線数と同じ13回線を想定しています。なお、左記の用途に対し、費用を低減する効果的な方法等があればご提案頂けますと幸いです。
13	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	21	「4.1.3.2 基本要件 No.3 構内交換機、電話機について」において、事務局に内線で転送を可能とするとありますが、事務局の電話回線を、更新する構内交換機に収容する方向でご提案したいと思っております。事務局の電話回線用の既設構内交換機が設置されていて、且つ不要となる場合は、弊社では処分ができないため、ご提案に含めない点をご了承願います。	構内交換機が設置されていない可能性もございます。設置されている場合は、その資産を所有する方により、撤去、産廃処分を行う必要があると思われしますので、念のため、質問させていただきました。	ご質問の状況においては、提案に含めないとのことで結構です。
14	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	23	「4.3.2 端末側ネットワーク要件 No.2 専用端末（タブレット）接続の場合の回線」において、150機関へ配布予定とありますが、タブレット端末は設置工事を行わず、説明会等の際に手渡しするか、宅急便等で配布するという認識でよろしいでしょうか？	念のため、確認させてください。	手渡し、もしくは別途配布するという認識で結構です。（送料は提案外）
15	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	25	「5.3.2 端末側セキュリティ要件」において、ウイルス対策については、PCに限定されていますが、タブレットも何かしらの対策を検討して提案してもよろしいでしょうか？	費用低減のため、あえて対応しない等の意図がございましたら、確認させてください。	タブレットについてもウイルス対策を実施する前提で、ご提案下さい。
16	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	30	「6.4 随時メンテナンス要件 No.1 対象」において、電話録音装置等の情報センター様設備は「定期メンテナンス」の対象に含めないと記載がありますが、「随時メンテナンス」と認識してよろしいでしょうか？	念のため、確認させてください。	「随時メンテナンス」という認識で結構です。
17	資料2	システム開発・機器調達運用保守等委託仕様書	31	「6.8.2 端末設備 No.3 電話録音設備の保守内容」において、電話録音設備は平日9時～17時の保守時間帯とするとあります。救急医療情報センター様は24時間対応ではありますが、通常平日日中帯の保守とし、緊急時は状況に応じて対応するという認識でよろしいでしょうか？	24時間保守ではないことを念のため確認させてください。	緊急時（県民への案内サービスが提供できない事態等の救急医療情報センターの営業に重大な支障が生じる場合）を除いて、左記の認識で結構です。

No.	資料・様式番号	資料名	該当ページ番号	質問内容	質問の趣旨	回答
18	様式4	業務機能一覧	-	No.21記載の「3者間調整希望の有無」について、3者間は、「県民（患者）」「救急医療情報センターのオペレータ」「紹介先候補の医療機関」と考えてよろしいでしょうか？また、「3者間調整希望の有無」を追加した背景としては、医療機関によって、3者調整が必要／不要が異なるためと考えてよろしいでしょうか？	現パッケージには「3者間調整希望の有無」を入力する項目が無いため、貴県が想定する運用を確認させて頂き、カスタマイズの内容をご提案させて頂きます。	3者間は、左記の認識で結構です。背景については、概ね左記の認識で結構ですが、「医療機関によって」とは限らず、「時間帯等の各種条件によって」とお考え下さい。
19	様式4	業務機能一覧	-	No.22記載の「診療科毎に個別で応需可能な時間を設定する」について、「自動設定（予約修正）」の場合、更新するタイミングで都度応需更新するものではなく、応需開始時間・終了時間を設定し、応需情報を更新するという認識でしょうか？	「様式4 業務機能一覧」で定義されている「自動設定」と、現行システムにある「応需情報入力」の定義は、以下のとおり異なるという認識でよろしいでしょうか？ 弊社の想定は以下のとおりです。認識に誤り等ございましたらご指摘ください。  (例) 自動設定で9:00～18:00が応需可で登録されており、12:00～15:00の間を急きょ応需不可にしたい場合 【応需情報入力（現行システム）の場合】 ・応需情報に変更になるタイミングで随時手動登録する。 →12:00のタイミングで応需不可に、15:00のタイミングで応需可に手動登録する。 【自動設定（予約修正）の場合】 ・自動設定で設定されている応需時間を基準に、応需情報に変更があった場合に部分的に変更する。 →手動設定（予約修正）で時間の設定（12:00～15:00）と応需情報（応需不可）を登録する。	N22の仕様としては、都度操作を行うのではなく、応需時間を変更できる仕様を想定していますが、具体的な仕様については最適と思われるものをご提案下さい。
20	様式4	業務機能一覧	-	No.26記載の「応需入力率」について、「別紙1 応需入力に関する機能案」記載の応需仕様①～④のすべての応需入力率をカウントする前提でしょうか？また、「積極的に入力している」と判断する基準については、どのような前提でしょうか？	応需入力率カウント対象機能、「応需入力を積極的に実施している医療機関にマークを表示する」判断基準について、ご要望ございましたらそれに合わせてご提案させて頂きます。	本仕様の背景・狙いは、協力医療機関に対する「表彰」行為を、システムを活用して実施することです。そのため、応需入力率の評価・判断は、人的に実施する業務とすることを想定しているため、システムの機能要件は、「医療機関についてマークを表示する」部分とお考え下さい。 (医療機関に対するマークをセンター側で登録可能であり、医療機関が主に参照する応需画面に付与されているマークが表示される機能。マークは複数の評価観点（一例が応需入力率）に対応して付与することを可能とし、観点に応じて画像イメージを登録できる仕様を想定) なお、「表彰」に相当する行為をシステムを活用して実施している事例やアイデアがあれば、ご提案下さい。 また、「応需入力率」は単純なシステム上の更新回数ではなく、正確な応需情報の提供がなされているかといった住民サービスに寄与する実質的な貢献度で判断するものであり、例えば月1回の予約入力で、その通り応需可能な状態が続く場合は高く評価される、といった類のものになりますが、そのような判断をする材料として、カウントの考え方を含め有効なアウトプットが得られる方策があればご提案下さい。
21	様式4	業務機能一覧	-	No.40記載の「また各医療機関の表示時間を設定することで自動的に新しい応需情報を表示することができます。」について、再表示間隔（1分/3分…等）を設定し、設定した間隔で応需情報を更新・表示可能という認識でしょうか？	左記のとおり認識しておりますが、認識誤りがございましたらご指摘ください。	左記の認識で結構です。
22	様式4	業務機能一覧	-	No.119の「汎用データ抽出(EUC)」について、救急医療情報センター様において条件等を設定しデータを抽出されることですが、どのようなデータを取得し、どのように活用されることを想定されているのでしょうか？（具体的にこれまでに現行システムを利用している中で、このような情報が取得できればよかった、このようなデータの活用ができればよかった、等のご要望がございましたらご教示ください）	救急医療情報センター様におけるデータの活用や分析に関する実際の運用を確認させていただき、頂いた情報をもとに検討を進めご提案させて頂きます。	汎用データ抽出は、具体的な出力仕様を既定するものではなく、システムが保持するデータを、「汎用的に」出力できる機能を想定しています。なお、現時点でニーズが明確な要件は帳票一覧に記載の通りです。
23	様式5	帳票・データ一覧	-	「運営状況統計」シート、「システム統計帳票」シートの種別(B列)が「既存」となっている帳票については、現行システムに存在する帳票で、現行システムから帳票出力概要の変更は無いという認識でよろしいでしょうか？	ご回答内容にあわせて、パッケージとの適合状況やカスタマイズ内容等についてご回答させて頂きます。	「既存」としている帳票は、基本的には現行と同等の仕様を想定しており、出力概要の変更はないと認識いただいて結構ですが、詳細仕様については今後の検討の中で多少の変更が生じる可能性があります。貴社にて想定のうちご提案下さい。
24	様式5	帳票・データ一覧	-	「運営状況統計」シート、「システム統計帳票」シートの種別(B列)が「修正」となっている帳票については、現行システムに存在する帳票内容を一部修正した帳票との認識でよろしいでしょうか？その場合、現行システムからどの部分が修正となるか教えて頂くことは可能でしょうか？	修正内容をご教示頂けましたら、それに合わせてご提案させて頂きます。	現時点では修正箇所及び修正の程度については未検討となっているため、貴社にて想定のうちご提案下さい。
25	別紙1	応需入力に関する機能案	3	「3. アプリ機能イメージ」について、運用イメージは右記の認識でよろしいでしょうか？認識誤りがございましたら、ご指摘ください。	④ON・OFF切替（スマホアプリ）について 【前提条件】 ・医療機関が個別に設定した“当日”の応需情報に反映される ・リアルタイムでその都度、応需可=ON/応需不可=OFFを一括更新する（応需科目が複数科目ある場合はすべて一括更新される） ・ON/OFFを切り替え後、逆のステータス（ONの場合はOFF、OFFの場合はON）に切り替えない限り、ステータスは変更されない ・基本的に医療機関の多くが①自動設定で基本診療時間を設定しているが、応需可否の変更に応じてリアルタイムに更新する 【運用イメージ】（「別紙1 応需入力に関する機能案」の「P.3アプリ機能イメージ」より想定） (例) 自動設定で9:00～18:00が応需可で登録されており、12:00～15:00の間を急きょ応需不可にしたい場合 <切替前の状態（アプリを開いた初期表示状態）> ◇応需ステータス表示機能 ・応需ONがグリーンで点灯状態（自動設定されているため） ◇本日の応需予定 ・9:00～18:00の間がグリーンで表示されている状態（自動設定で9:00～18:00が応需可であるため） <切替内容（応需不可となる12:00以前に切り替える場合）> ◇本日の応需予定 ・応需不可としたい12:00～15:00をタップし、OFFに切り替える（グレー表示される）	左記の認識で結構です。 なお、スマホアプリの仕様については、あくまで現時点の検討案であり、より最適な仕様や方式があればご提案下さい。（現時点でスマホアプリを想定していますが、例えばWebアプリケーションにて同等の機能・操作性・レスポンス等を実現でき、かつ開発・維持メンテナンスにかかる費用低減が可能であれば、そのような方式での提案も、参考提案として情報提供頂けますと幸いです）